

平成24年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 子ども地域教育コース

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

# 問 題

次の文章を読んで以下の各問に答えなさい。

非公開

## 非公開

(出典：鳥山敏子、『居場所のない子どもたち—アダルト・チルドレンの魂にふれる—』,岩波書店,2009年,167～170ページ,抜粋・一部改変)

問1 下線部分①で言われている、「生徒自身のからだにとってとても重要なこと」とはどのようなことだと思いますか。本文中の言葉を適宜用いながら、100字以上、125字以内で述べなさい。

問2 下線部分②の「新しい授業」とは、どのような授業のことを指しますか。本文中の言葉を適宜用いながら、100字以上、125字以内で答えなさい。

問3 下線部分③の「子どもが力を出す場を保障する」ためには、学校や教師にどのような視点や取り組みが求められると思いますか。あなたの考えを600字以上、700字以内で述べなさい。

## 平成24年度入学試験問題（前期日程）

# 小論文

教育学部 生涯教育課程 子ども地域教育コース

### 出題の意図

1. 本コースは、子どもの成長や発達を、学校教育からだけではなく地域的な視点を持ち考え、学校と地域との連携を図ることができる人材養成に主眼を置いている。したがって、本問題をとおして、教育的な営みを、学校教育だけに限定されない幅広い視野から考えることができるかどうかをみる。
2. 文章を正確に読み取り、かつ的確に表現できるかどうかをみるために、文章の主旨や文中の語句について、説明を求めた（問1、問2に相当）。
3. 教育的な営みを、学校教育だけではなく幅広い視野から捉えることができる力をみる。文章の主旨を踏まえて、自らの考えを論理的に構成し、かつ具体的な教育的取り組みを発想し、説明することを求めた（問3に相当）。